

## 医療従事者と患者の相互連携による治療 推進の取り組みについて

慶應義塾大学看護医療学部  
加藤眞三

### 肝臓病教室による情報提供の試み

- 1992年都立広尾病院にて開始した。
- きっかけは、自分自身のストレス。
- インターフェロンの治療が開始された時期。

#### 初期の問題意識

3分間診療では十分な説明ができない。

患者の間には同じような質問や疑問が多い。

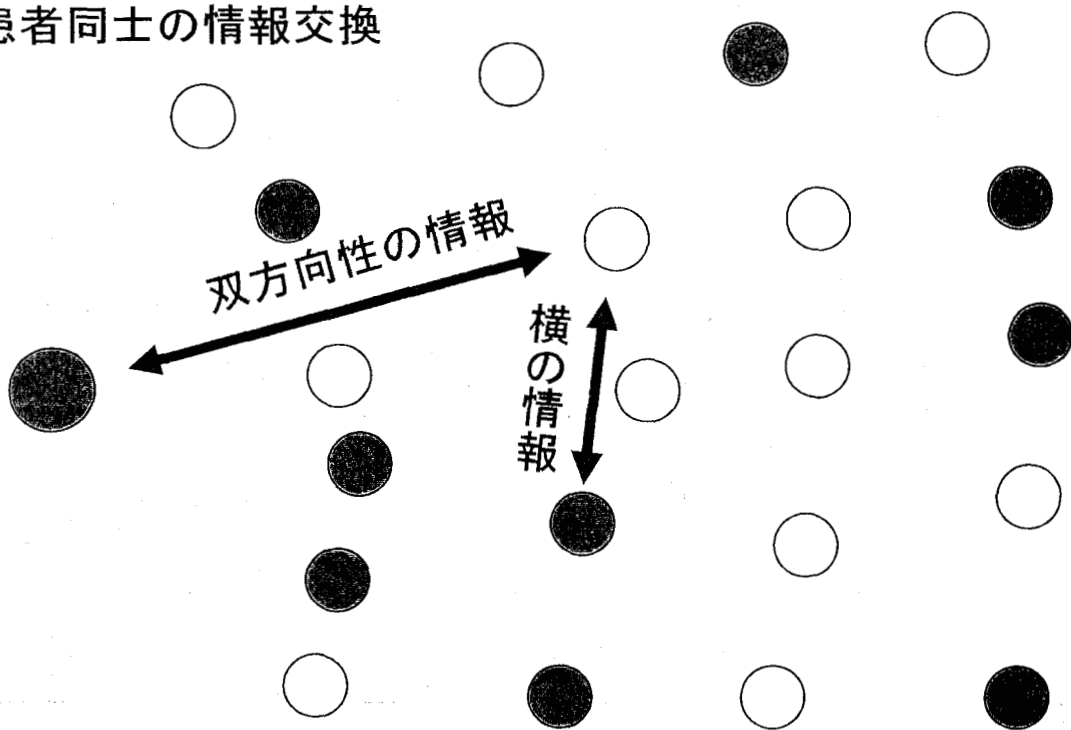
情報化社会の中にあって、病気に関する情報は増えているが、質に問題がある。

# 肝臓病教室による情報提供

- 約2時間を1回とし、4回を1コースとする。
- 月に1度開催する。
  - 肝臓病と日常生活の注意
  - 慢性肝炎とは; インターフェロンと抗ウイルス療法
  - 肝硬変について; 合併症とその治療
  - 肝臓病の検査では何をみているのか。
- ▶ 必要と思われる医療知識の提供  
(病気について、感染対策、検査や治療法の説明)

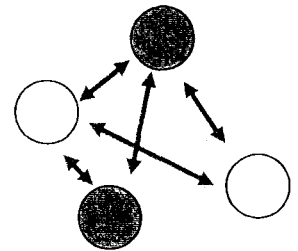
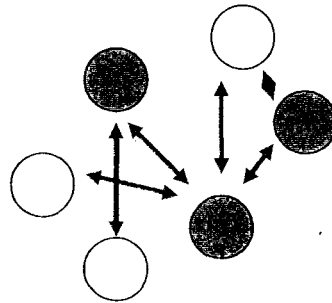
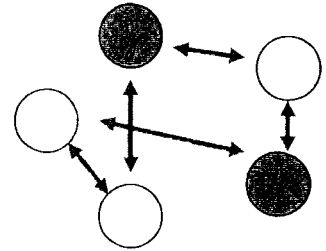
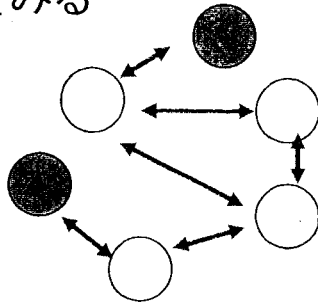
## 質疑応答の重視

- 患者の知りたいことを中心に
- 患者同士の情報交換



## グループワーク方式

- 患者同士の情報の交換
- 他人の中に自分をみる
- 共感と励まし



## グループワーク方式

- ▶ 目的： 医師からの一方的な情報提供だけでなく、患者同士の情報提供を生かす。
- ▶ 背景； 患者への情報には、医師からのものよりも患者同士の方が有益なものもある。  
肝生検、TAE、PEIT、RFなどの体験談  
こむら返り、だるい時、疲れた時、落ち込んだ時にどう対処しているかなど
- ▶ 結果； 患者は、自分の病気の将来像を他の患者の中に見ることができる。  
肝硬変や肝臓癌の他の患者に将来の生活を知る。  
慰めあい。励ましあい。共感がうまれる。
- ▶ 必要時には医療者からアドバイスをくわえる。

## グループワークでのルール

- ▶ 何を； 肝臓病により不安に思っていること、困っていることなどを相談してください。
- ▶ 誰から； 新しく参加した人や最も相談をしたい人を優先してください。
- ▶ 時間； 一人の話は約3－5分間を目安としてください。
- ▶ プライバシーの尊重； 最初に自己紹介を短くして下さい。本名でなくても、仮名やニックネームでも結構です。
- ▶ 意見交換； 自分の意見を参考までにのべて、他人に押し付けないように。
- ▶ 医療者の補助； 医療者からの意見を聞きたい時には、手を挙げて呼んでください。

## あるC型慢性肝炎患者からの手紙

数年前、区の「お誕生日検診」によりC型肝炎であることが判明しました。

その時は、「輸血もしたこともなければ、お酒、タバコの経験もないのに何で私が！」と一瞬血が引く思いがしました。やがて、徐々に悔しくて残念な思いが募ってきました。自覚症状もありませんでした。

しかし、こんなことをくよくよといつまでも悩んでいても前進がない。前向きに考えねばと近くの病院を訪ね治療を受けました。

(中略)

そんな時、加藤先生から「肝臓病教室にいらっしやい」と声をかけていただきました。どんなものかと恐る恐る参加させていただきました。

「肝臓病と日常生活」というテーマでした。スライドをつかった加藤先生のわかりやすい説明で、あっという間の2時間でした。その帰り何となく肩の荷がずっと降りたような思いをしました。

肝臓病教室の参加を重ねるごとに、だんだん「私はC型肝炎であるが、そんなに悪い状態ではないのだ」という思いが強くなってきました。約30分のグループワークで、色々のかたのお話を聞くにつけ、特にその思いが確信に近づいてきました。(中略)

一時減った体重も今は元に戻り、ストレスをためないように楽しく暮らしています。

# 肝臓病患者の持つ不安の原因と対処

- ▶ 自分が良く知らないことに起因。情報の不足
- ▶ インテレクチュアルペイン
  - 病気の進行は。
  - 新しい治療法。
  - 新しい検査。侵襲のある検査。
  - 感染症としての不安。
  - がんとはどんなに悲惨か？
  - どんな日常生活ができるのか？ 安静を強いられる。

▶ 情報の提供

- ▶ 病気を抱えて生じる回答のない生の根源的な悩み
- ▶ スピリチュアルペイン
  - どうして私が。
  - がんになったらどうしよう
  - 死後にはどうなる
  - 自分が生きている意味は
  - 他人に迷惑をかけたくない
  - 私が死んでしまったら家族は？

▶ 傾聴

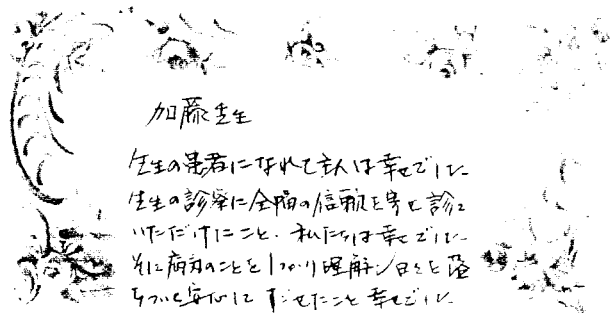
▶ グループワーク

## 終末期肝がん患者とスピリチュアルケア

その病気のことをしっかり理解し、日々を落ち着いて安心してすごせたこと 幸せでした。

最後には、病室へ先生が訪れて下さるだけで、主人は元気と勇気と自信を取り戻しておりました。それが患者とその家族にとってどれ程嬉しく有難いことだったか・・・

肝臓病教室のすすめ  
(メディカルレビュー社) より



加藤先生

先生の患者に付いてお話を伺って、先生の診察に全般的な信頼と尊敬を込めてお話を伺った。私も先生に、病気のことはしっかり理解/目と口から先生に話を伺った。最後には、病室へ先生が訪れて下さるだけで、主人は元気と自信を取り戻しておりました。これが患者と家族にとってどれ程嬉しく有難いことだったか.....

改めて、心に感謝の気持ちを込めてお話を伺った。この文章を記述して取り上げ、

“加藤先生の医師、これは患者への立場、これは本当、医療には、人間的な診察は、その病前に、その心、アンソニー・ワイルド、加藤先生の患者に付いてのこと、これもワイルド、先生に付いては、目と口から理解し、何の不安もありません！”

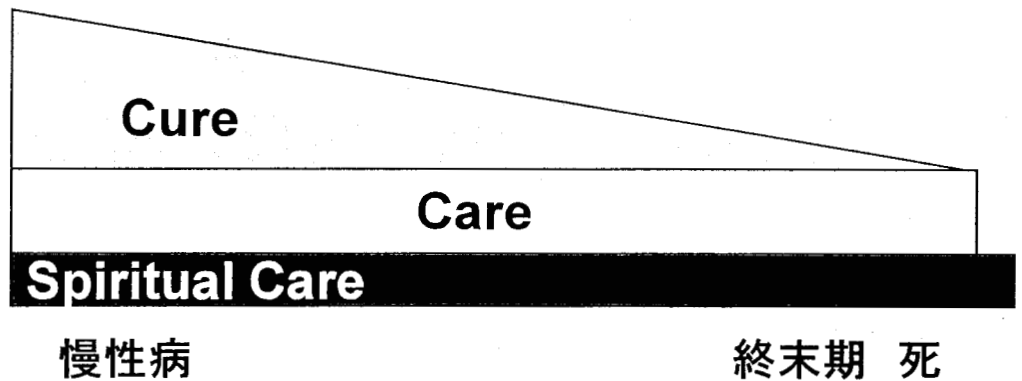
担当は別にお話しします。

手紙から先生への患者さんへの、先生の悔しい泣き声、お祈り申し上げます。

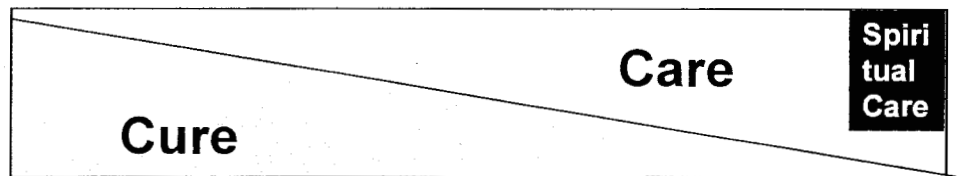
02. 2. 25. 青山芳美

# CureとCareの関係の見直しを

これからの  
医療



現代医学

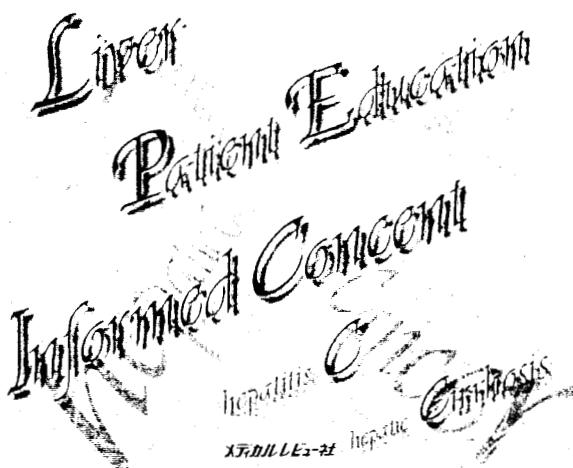


## 肝臓病教室のすすめ

—新しい医師・患者関係をめざして—

編著：加藤 眞三

慶應義塾大学医学部消化器内科講師



肝臓病教室のすすめ

—新しい医師・患者関係をめざして—

加藤眞三

メディカルビュー社 2002年

患者教育用スライドのCD-ROM付

### 輸血や血液製剤で感染



## C型肝炎広がる不安

### 「薬害」把握これから

【東京20日】厚生労働省は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染が、輸血や血液製剤を通じて広がっているとして、注意を呼びかけた。HCVは、慢性肝炎の原因となるウイルスで、感染すると約80％の人が慢性化する。また、肝臓がんや肝硬変の原因となる。HCVは、1989年に発見された。感染経路は、血液の接触による。輸血や血液製剤の感染は、1990年代前半にピークを過ぎ、現在は減少している。しかし、一部の地域では、感染が依然として広がっている。厚生労働省は、HCVの感染拡大を防止するため、輸血や血液製剤の安全性を確保する必要があるとしている。

### 過去3頭と同銘柄

地元で販売が

【東京20日】厚生労働省は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染が、過去3頭と同銘柄の牛乳を通じて広がっているとしている。HCVは、1989年に発見された。感染経路は、血液の接触による。牛乳を通じて感染することは、極めて稀である。しかし、一部の地域では、感染が依然として広がっている。厚生労働省は、HCVの感染拡大を防止するため、牛乳の安全性を確保する必要があるとしている。

## 医療ルネサンス

【東京20日】厚生労働省は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染が、医療ルネサンスを通じて広がっているとしている。HCVは、1989年に発見された。感染経路は、血液の接触による。医療ルネサンスを通じて感染することは、極めて稀である。しかし、一部の地域では、感染が依然として広がっている。厚生労働省は、HCVの感染拡大を防止するため、医療ルネサンスの安全性を確保する必要があるとしている。

### C型肝炎 克服に向って



肝臓病教室で参加者からの質問に答える加藤三三さん（東京・信濃町）

## 肝臓病教室で情報提供

【東京20日】厚生労働省は、肝臓病教室を通じて、肝臓病患者やその家族に情報を提供している。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の症状や治療法について学ぶことができる。また、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の予防法について学ぶことができる。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族にとって、非常に有益な場となっている。

### 家庭をくらし

【東京20日】厚生労働省は、肝臓病教室を通じて、肝臓病患者やその家族に情報を提供している。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の症状や治療法について学ぶことができる。また、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の予防法について学ぶことができる。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族にとって、非常に有益な場となっている。

### 自然観察に役立つ

【東京20日】厚生労働省は、肝臓病教室を通じて、肝臓病患者やその家族に情報を提供している。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の症状や治療法について学ぶことができる。また、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の予防法について学ぶことができる。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族にとって、非常に有益な場となっている。

### 味し

【東京20日】厚生労働省は、肝臓病教室を通じて、肝臓病患者やその家族に情報を提供している。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の症状や治療法について学ぶことができる。また、肝臓病患者やその家族が、肝臓病の予防法について学ぶことができる。肝臓病教室は、肝臓病患者やその家族にとって、非常に有益な場となっている。

# 肝臓病教室の勉強会の組織化

- ▶ 1992年 都立広尾病院で肝臓病教室を開始。
- ▶ 2002年 「肝臓病教室のすすめ」を出版。
- ▶ 2002年 慶應義塾大学大学病院への見学が始まる。
- ▶ 2003年 全国版「肝疾患患者指導研究会」を開催。その後3回開催。
- ▶ 2005年 大阪地区で「肝臓病教室アドバイザーカンファレンス」が立ち上がる。
- ▶ 2006年 東京地区で「東京肝疾患患者指導研究会」の立ち上がる。
- ▶ 2008年 「和歌山肝臓病教室勉強会」

# わが国における肝臓病教室の実施状況

調査時期 (年/月)	2003	2004	2006	2008	2009
実施施設	64	80	81	127	155
計画中	25	26	22		
関心・興味あり	188	237	108		
教室見学施設	27	55	72	94	106

## 患者にとっての肝臓病教室の効用

- ▶ 知っておくべき知識、知らない情報が得られる。
- ▶ 知りたい情報を自分の医療者より直接得られる。
- ▶ 医療者とのコミュニケーションができる。
- ▶ グループワークにより精神的安心感が得られる。
- ▶ 病気をかかえてより積極的な生活に目が向けられる。
- ▶ 医療者と患者の協働関係の構築



# 医療者にとっての肝臓病教室の効用

集団指導により効率よく情報を提供できる。  
グループワークで患者同士の情報交換を有効に活用。  
精神的サポートにつながる。

医療者のコミュニケーション教育の場。  
医療のチームワークが出現する。  
医療者のやるきがでる。  
地域医療との連携の場になる。

## 患者と医療者の協働関係の構築

### 「患者と作る医学の教科書」

総医研 2009年

- ▶ 患者の視点から病気はどのようにとらえられているか。
- ▶ 患者会の皆さんに依頼し、原稿をかいてもらう。
- ▶ 医療者がその内容を点検し、構成する。
- ▶ 主観的な病態学

#### ▶ 模擬授業の開催

20010年2月28日(日)

慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎

医学生、看護学生、薬学生などを対象。

# 螺旋—魂の旅路のシンボル

社会との相互作用としての危機の処理

Stand  
2003



1800

Erika Schuchardt 「Why me？」

© Erika Schuchardt